

### 県の基本方針を踏まえた国への施策提案(平成29年度)の内容

空港アクセスの改善や旅行需要の創出等に向けた地元企業との連携など、地域の関係者と連携して  
広島空港の利便性向上を図る提案を重視すること

<提案の趣旨> 航空路線の拡充や空港施設の利便性向上に注力することに加えて、中四国地方の拠点空港として広域的な観点を含む空港アクセスの利便性向上や需要創出の取組に積極的にコミットする提案を求める



上記を基本に、地元の考え方をより明確にするため、以下の視点で議論

#### ① 地域の掲げる将来像への積極的提案

- 広島空港の将来像(中四国の拠点空港)や、その具体的指標である「将来目標」を鑑みた、積極的な提案を求めるべきではないか。  
(先行事例では、「地域が掲げる将来目標値」そのものは評価基準とされていないものの、多様な要素を包含した指標として地域が重視していることを、国及び運営権者候補に対して積極的に打ち出していくべき)

#### ② 運営権対価に対する考え方

- 地域としては、空港活性化(地域活性化)の取組や地元との連携策といった事業内容が、質・量ともにより高度な提案の実現が望ましいため、運営権者が速やかに多くの投資等を行えるよう、運営権対価の評価比率を低くするよう求めるべきではないか。

#### ③ 提案内容について

- 先行事例をフォーマットとした場合、欠けている視点(提案項目)はないか？
- どのような提案を重視するか？(例えば、関係事業者と連携した空港アクセスの利便性向上に向けた提案を重視すべき など)

※配点は項目間でトレードオフ関係にあることに留意(特に重視すべきものは何か)

		項目	仙台	高松	福岡	熊本	道内	
全体事業方針	A	将来イメージ・基本コンセプト	5%	3%	4%		○	
空港活性化に関する計画	1	①旅客数・貨物量の目標値/目標とする航空ネットワークの将来像	22%	22%	12%	事業スキームが左記空港と異なるため比較対象外とする	事業スキームが左記空港と異なるため比較対象外とする	
		②着陸料等の料金提案(①に寄与するもの)						
		③エアライン誘致提案(①に寄与するもの)						
		④その他提案(②, ③以外で①に寄与する提案【需要創出策等】)						
	2	①目標とする航空サービス利用者の利便性向上の水準	6%	11%	11%			
		②航空サービス利用者の利便性向上提案(①に寄与するもの)						
		③空港用地外の事業者との連携提案(アクセス事業者等)						
	3	①目標とする航空サービス利用者以外の空港利用者の利便性向上の水準	8%	3%	3%			
		②航空サービス利用者以外の空港利用者の利便性向上(①に寄与するもの)						
	4	福岡県の空港の将来構想の実現に係る協力方針	-	-	3%			
設備投資に関する計画	1	①空港の機能維持を目的とする設備投資の総額	6%	5%	5%			
		②空港の機能維持を目的とする設備投資に関する提案(安全性への配慮等)						
	2	①空港活性化を目的とする設備投資の総額(Bの実現のための投資)	6%	8%	8%			
		②空港活性化を目的とする設備投資に関する提案(①に係る具体策)						
安全・保安に関する計画	D 1	安全・保安に関する提案	8%	8%	6%			
提案事業に関する実施計画	1	地域との共生に関する提案(いわゆる周辺対策事業に関するもの)	4%	4%	5%			
	2	空港利用促進事業に関する提案(国・自治体等と連携した施策)	4%	4%	-	◎		
事業計画及び事業継続, 事業実施体制	1	事業計画(PL・CF・BS等)	6%	5%	8%			
	1	事業継続に関する提案(保険の付保等のリスク管理等)	4%					
	2	事業実施体制(出資構成, 組織図, 協業体制等)	6%			5%	7%	
職員の取扱い	G 1	職員の取扱いに関する提案(福岡はF2に含まれる)	4%	4%	-			
運営権対価	H 1	運営権対価の額及び資金調達の確実性	12%	20%	30%	23%	23%	×

※一般的な記載であり、空港により表記が異なる場合がある。また同一項目であっても審査のポイントが異なる場合がある。

出典：国が公表している各空港の「優先交渉権者選定基準」を元に作成。

項目別配点比率(200点満点)